

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどものデイサービスなないろぷち			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 21日 ～ R8年 1月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R8年 1月 22日 ～ R8年 2月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に応じてこどもが個別の部屋や場所を使用できる環境を整えています。	静養室・相談室は常時使用可能としており、自由な出入りが出来ます。ケアやクールダウン等、状況に応じた活用をしています。各部屋を使用しながら生活空間と活動空間を分けて環境を整えています。	子どもの状態に応じた環境調整の在り方を定期的に見直し、安全かつ安心して過ごせる空間作りに努めます
2	事業所の活動プログラムは固定化しないよう工夫をしています	児童発達、放デイ、生活介護と分野を問わず全職員で立案し活動プログラムの年間計画を設定しています。施設見学や体験、戸外活動、調理活動も積極的に取り入れ、安全に楽しく参加できるよう計画をしています。	活動の評価、振り返りを行い、子どもの状況や課題に応じて、活動内容の改善や新しい活動を組み込んでいきます
3	アセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成するよう努めています。	面談や日々の支援の中で課題やニーズを踏まえた上で、必要な支援を行えるよう個別支援計画を作成しています。作成時は複数職員が関わり、全体で共通認識を持って支援に当たっています。	日々の記録をとること、小さな変化も見逃さず、アセスメントや支援の質の向上を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者懇談会を実施しているが、参加率が十分ではない。	・休日も就労されている保護者の参加が難しいことや、手紙の配布だけでは周知方法が十分に行き届いていない可能性が考えられます。	・開催日時や内容の見直し、個別での案内をし参加しやすい環境作りを行っていきます。
2	・保育園や幼稚園、児童クラブや児童館との交流について	・当事業所は生活に密着した支援を行っており送迎対応や利用時間の調整の都合から地域施設との交流機会の確保が難しい状況があります。また、移動手段や人員配置、感染症対策等の観点から実施に制限が生じていることも要因として考えられます。	・併行利用されている児童が多いため、当事業所では施設の一般開放（ななちゃれやバザー等）のイベントを通して地域のお子様と交流が持てる場の設定を行っています。今後も来場者が増えていくようイベントの継続、周知を行っていきます。
3			